

# 東京新聞

2022年(令和4年)  
**12月28日**  
水曜日

中日新聞東京本社

〒100-8505  
東京都千代田区内幸町  
二丁目1番4号  
TEL 03-6910-2211

新聞を人生の  
パートナーに

お問い合わせ  
平日 9:30~17:30  
◆紙面への質問・意見  
03-6910-2201  
◆配達・集金  
03-6910-2556

購読も ためしよみも  
おひろて キョクキョク  
0120-026-999

Webでの  
お申し込み  
24時間  
受付中!



きょうは何の日

大日本  
相撲協会設立  
1925年、財団法人  
として設立。58年に  
日本相撲協会に改称  
し2014年に公益財団  
法人になりました。  
年寄、力士、行司、呼  
出、床山らによって  
構成されています。

きょうの紙面

秋葉氏更迭、後任に渡辺博道氏 27



復興相の辞表を提出した秋葉賢也氏  
復興相の後任の渡辺博道氏  
岸田文雄首相は、政治資金問題などが相次いだ秋葉賢也復興相を更迭。後

## コロナ・インフル 同時流行

新型コロナウイルスの感染拡大が続く  
中、東京都などでは季節性インフルエンザ  
が流行期入りし、都内の発熱外来はコロナ  
とインフルの同時流行による患者増加への  
対応に追われている。年末年始は休診とな  
る医療機関も多く、一時的に発熱外来にか  
かりにくい状況が生じる懸念がある。医療  
関係者は、検査キットや市販薬の購入など  
事前の備えを呼びかける。(榊原智康)

### 都内 第7波並み

「発熱患者数はコロナ感  
染が落ち着いていた十月に  
比べると六倍近くまで増え  
た。夏の第七波のピークに  
近い状況だ。都内と千葉市  
内の計三カ所で発熱外来を  
設ける「東京ビジネスクリ  
ニック」の内藤祥医師は、医  
療逼迫への警戒を強める。  
クリニックでは対面に加  
え、オンラインも活用し、  
発熱患者の診察を行う。十  
月の発熱患者は一日当たり  
四十〜五十人だったが、最  
近は二百〜二百五十人。患

者は二十〜四十代が中心  
で、軽症の人が多いが、中  
には四〇度近い高熱を出す  
人もいるという。  
先週から、インフルと診  
断するケースが増えている  
。都内では定点医療機関  
で報告された患者数の平均  
が十八日までの一週間で一  
・二人となり、都は二十  
二日、インフルの流行開始  
を宣言した。内藤医師はク  
リニックを訪れる発熱患者  
の六割がコロナ、インフル  
が二割、残りの二割はそれ



子神谷内外科クリニックの伊藤博道院長は発熱患者増を受け、今月中旬から、小学生以下の子どもや高齢者などを優先的に診察する。若者など重症化リスクが低い人には、都が開設した「臨時オンライン発熱診療センター」の受診を促す。土日も診療を行っているが、二十五日の日曜日は設けている受診枠がすぐに埋まり、受診を希望する小児や高齢者でも診察できない患者が出たという。  
都内ではコロナの新規感染者数の一週間平均が八週間連続で増加傾向にあり、二十七日時点では一万七千人を超える。年末年始は帰省などで人と人との接触機会が増え、厚生労働省に助言する専門家は「増加傾向の継続が見込まれる」と予測する。一方、インフルも例年一〜二月ごろに流行のピークを迎える。

## 「検査キット活用を」

**年末年始に発熱したら**

**重症化リスクが高い人**

- 小学生以下
- 妊婦
- 高齢者
- 基礎疾患ある人

速やかに受診 → 診療を行っている発熱外来などへ

---

**重症化リスク低い人**

- 自己検査  
新型コロナの抗原検査キットなど

コロナ陽性 → 陽性者登録センターなどに登録 自宅療養

陰性 → 受診希望者は電話・オンライン診療などへ

※症状が重いと感じる場合は、診療を行っている発熱外来などへ

**東京都や各県が開設する 電話相談窓口**

東京都	03-5320-4551
神奈川県	0570-056-774
埼玉県	0570-783-770
千葉県	0570-200-139

など

年末年始に発熱などの症  
状が出た場合、どうしたら  
いいの。診療を行う医療  
機関に限られるため、厚生  
労働省は、基礎疾患のない  
若者など重症化リスクが低  
い人は新型コロナウイルスの抗原検  
査キットで自ら検査し、陽  
性であれば自宅療養するよ  
う協力を求めている。陰性  
の場合は季節性インフルエ  
ンザの可能性があり、希望  
者は電話やオンラインなど  
で診療を受ける。  
重症化リスクが高い人  
は、診療を行っている医療  
機関を速やかに受診するの  
が基本になる。まずは、か

# 中国、入国時の隔離撤廃

## 来月8日ゼロコロナ政策終了

【北京―新員憲弘】中国  
政府は二十六日、新型コロナ  
ウイルスの感染対策として  
強制されてきた入国者や  
感染者に対する隔離措置な  
どを来年一月八日から撤廃  
すると発表した。厳しい行  
動制限で感染を抑え込む  
「ゼロコロナ」政策を正式  
に放棄し、経済社会活動の  
正常化に重点を置く。「ウイ  
ズコロナ」に切り替える。  
核心・経済優先へ大転換  
PCR検査破綻の面

発表によると、入国前の  
四十八時間以内を受けたP  
CR検査で陰性なら入国可  
能となる。  
従来は入国時に五日間の  
強制隔離と三日間の自宅隔  
離が求められ、渡航の障害  
となっていた。  
また国際線の搭乗率制限  
はなく、回数も段階的  
に回復させる。今後はビジ  
ネスや留学目的のビザ取得  
の利便性を高めるほか、中  
国人の出国も「秩序だつて  
回復させる」としている。  
海外旅行を控えていた中国  
人観光客が日本などを訪れ  
ることが予想されるが、他  
国に感染を広げて批判を招  
く恐れもある。  
一連の措置に先立ち、新  
型コロナは二〇二〇年から  
ペストやコレラ並みに厳し  
い防疫レベルを求める感染  
症に分類されてきたが、ウ  
イルス性肝炎や狂犬病並み  
に引き下げた。

## 日本、中国からの水際強化

岸田文雄首相は二十七  
日、中国本土での新型コロナ  
ウイルスの爆発的感染が  
報じられているとして、三  
十日午前零時から緊急で水  
際対策を強化すると表明し  
「これに対し中国外務省報  
道官は「正常な人的往来に  
影響を与えざるべきではな  
い」と反発した。

本社の新聞編集は、すべて再生可能エネルギーの電力で賄われています。